

**製品名: PAI1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87375**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:45 kDa; Observed MW:45 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PAI1
別名	PAI; PAI1; PAI-1; PLANH1
遺伝子 ID	5054
SwissProt ID	P05121
免疫原	ヒト PAI1 の組み換えタンパク質

**背景**

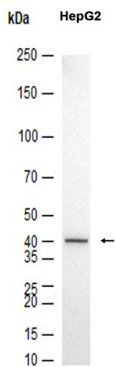
この遺伝子は、セリンプロテアーゼインヒビター（セルピン）スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このメンバー

は、組織プラスミノゲン活性化因子 (tPA) およびウロキナーゼ (uPA) の主要な阻害因子であり、したがって線溶を阻害します。この遺伝子の欠陥は、プラスミノゲン活性化因子インヒビター1欠損症 (PAI-1欠損症) の原因であり、遺伝子産物の高濃度は血栓形成能と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年9月]

## 研究分野

-

## 画像データ



PAI1 ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用して HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。